

中高年者縦断調査の調査項目（案）

厚生労働省 政策統括官

（統計・情報システム管理、労使関係担当）

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

中高年者縦断調査における課題・有識者ヒアリングの結果等

課題

すべての対象者が70歳以上となる第21回（令和7年）調査から、調査項目を見直ししてはどうか

有識者ヒアリングの結果

ヒアリング事項	御意見まとめ
<ul style="list-style-type: none"> 現在実施中の縦断調査はいつまで実施すべきか 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が後期高齢者となる第26回（令和12年）までやっていけないのではないか。 70歳を超えてから働き方の変化、年金、医療、介護の需要の増加などがおきるので75歳まで継続する案がいいと思う。 調査対象者が19,600人も残っているので最後までやって欲しい。 RIETI（（独）経済産業研究所）が実施しているJSTAR（暮らしと健康の調査）は、中高年者を対象にしたパネル調査のプロジェクトであるが、最近実施できていないため、本調査をぜひ続けて欲しい。また、市町村コードを入れると異動が把握できて良い。 <u>中高年者は、介護・貧困・孤独死等、政策課題はたくさんあるので、調査項目を厚くすべき。</u> <u>脱落要因の分析用に死亡情報とのリンクができるとうい。また、年齢に合わせて調査項目の見直し（就業をやめ、誰に介護されているかを聞くなど）が必要。</u> <u>介護、医療、家族の情報の充実、介護は介護レセプトとの連携ができれば負担も減る。</u>
<ul style="list-style-type: none"> 新たな集団を確保する場合の対象者、確保方策 	<ul style="list-style-type: none"> 70～80代は定年後の就業実態、フリーランスの実態が把握できるが就労との関係は薄くなるため、10年のパネルではなく59～61歳、64～66歳など限定の年齢を追跡し、定年前後の変化を分析するような形も考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> 特別報告 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の就業特集、中高年者の孤立度合い・高齢女性の貧困等。
<ul style="list-style-type: none"> その他全般 	<ul style="list-style-type: none"> <u>子なし高齢者が最低賃金で働く者が増えているため、中高年者の就業をとり続け、また、潜在的な介護のある可能性の人にも調査を行っていけば、縦断調査が脚光を浴びる可能性がある。</u> <u>中高年者は、労働市場から外れ社会参加そしてボランティアをする方も出てくる年代であり、社会との関わり方が政策トピックスになるのでは。</u> <u>中高年者は後期高齢者は急激に要介護になり、これから同居も増えると思われ、今後、応用が増えるはず。</u>

中高年者縦断調査の概要

開始年

平成17(2005)年

目的

<高齢者の健康保持と就業等社会活動の確保>

高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得る

調査対象

平成17年10月末時点で50～59歳の全国の男女

特別報告

平成30年3月23日
調査当初に50～59歳であった対象者を取り巻く環境が10年の間に中高年者の就業や健康等に与えた影響についてまとめたもの

◆中高年者縦断調査

調査実施年・調査回	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率	残存率
(H17年) 第1回	50～59歳	40,877	34,240	83.8%	-
(H18年) 第2回	51～60歳	35,007	32,285	92.2%	94.3%
(H19年) 第3回	52～61歳	32,195	30,730	95.4%	89.7%
(H20年) 第4回	53～62歳	30,773	29,605	96.2%	86.5%
(H21年) 第5回	54～63歳	29,548	28,736	97.3%	83.9%
(H22年) 第6回	55～64歳	28,554	26,220	91.8%	76.6%
(H23年) 第7回	56～65歳	28,137	25,321	90.0%	74.0%
(H24年) 第8回	57～66歳	26,428	24,026	90.9%	70.2%
(H25年) 第9回	58～67歳	25,261	23,722	93.9%	69.3%
(H26年) 第10回	59～68歳	24,231	22,748	93.9%	66.4%
(H27年) 第11回	60～69歳	23,485	22,595	96.2%	66.0%
(H28年) 第12回	61～70歳	22,845	21,916	95.9%	64.0%
(H29年) 第13回	62～71歳	22,253	21,168	95.1%	61.8%
(H30年) 第14回	63～72歳	21,587	20,677	95.8%	60.4%
(R1年) 第15回	64～73歳	20,903	19,931	95.3%	58.2%
(R2年) 第16回	65～74歳	20,264	19,644	96.9%	57.4%
(R3年) 第17回	66～75歳	19,765	18,999	96.1%	55.5%
(R4年) 第18回	67～76歳	19,241	18,469	96.0%	53.9%
(R5年) 第19回	68～77歳				
(R6年) 第20回	69～78歳				
(R7年) 第21回	70～79歳				
(R8年) 第22回	71～80歳				
(R9年) 第23回	72～81歳				
(R10年) 第24回	73～82歳				
(R11年) 第25回	74～83歳				
(R12年) 第26回	75～84歳				

※残存率は第1回回収客体に対する回収率

第18回 中高年者縦断調査の調査項目（1）

主な調査事項 【家族】

- 問1 配偶関係の有無
補問1-1 同・別居の別
補問1-2 介護の必要の有無
- 問2 1年間の配偶関係の変化
配偶者の出生年月
配偶者の学歴
- 問3 配偶者以外の同居者の有無
補問3-1 続柄
年齢
収入の有無
介護の必要の有無
- 問4 同居なし父母・子・孫の有無、続柄
年齢（父母）
介護の必要の有無（父母）
人数（子、孫）
- 問5 親族への介護の有無
介護の相手
1週間の介護時間
- 問6 同居なし親族への経済的な支援
月平均支援額
年間合計支援額

主な調査事項 【健康】

- 問7 現在の健康状態
- 問8 病気・けがの診断の有無
通院・服薬の有無
治療開始からの病状の変化
1年間の入院の有無
- 問9 病気等の治療の費用の有無
金額（費用）
- 問10 過去1か月間の「感じ」
- 問11 日常生活活動の困難の有無
補問11-1 困難な活動の種類・程度
- 問12 要介護度の状況
要支援度等の認定を初めて受けた時期
- 問13 飲酒の程度
1日平均飲酒量
- 問14 喫煙習慣の有無
1日平均喫煙量
- 問15 運動の状況
- 問16 1年間の健診等受診の有無
補問16-1 健診等結果
健診等結果への対応
- 問17 健康維持のため心がけていること

主な調査事項 【就業】

- 問18 収入になる仕事をしているか
- 問19-1 仕事のかたち
問19-2 仕事の内容
問19-3 1週間の就業日数
1週間の就業時間
- 問19-4 勤め先の従業者数
問19-5 仕事について感じていること
問19-6 仕事をしている理由
- 問20-1 勤め先の定年の有無
定年年齢
- 問20-2 勤め先の再雇用制度等の有無
利用希望の有無
- 問20-3 勤め先の再雇用制度等の利用の有無
- 問21 後継者の有無
今後の事業方針
- 問22 収入になる仕事をしたいか
補問22-1 したい仕事のかたち
補問22-2 仕事探し、開業準備
補問22-3 仕事探し、開業準備をしない理由
- 問23 過去1年間に仕事をやめた経験の有無
その仕事をやめた年月
その仕事をやめた理由
その仕事のかたち

第18回 中高年者縦断調査の調査項目（2）

主な調査事項 【社会活動等】

- 問26 日常活動の範囲・頻度
- 問27 頼りにしている人の有無
- 問28 趣味・教養、社会参加活動の有無
活動の方法
満足度

主な調査事項 【住居・家計】

- 問29-1 住まいの形態
ローンの有無
- 問29-2 住宅の変化
- 問30 情報通信機器の使用状況
- 問31 1か月間の収入の有無
 - 補問31-1 収入の種類
 - 補問31-2 収入額
公的年金受給額
- 問32 1か月間の家計支出額
- 問33 借入金の有無、金額
- 問34 預貯金の有無、金額

主な調査事項 【配偶者】

- 問35 配偶者の健康状態
- 問36 配偶者の1か月間の収入の有無
 - 補問36-1 配偶者の収入の種類
 - 補問36-2 配偶者の収入額
公的年金受給額
- 問37 配偶者との時間の過ごし方
 - 補問37-1 配偶者と過ごす時間

(周期項目)

調査年

3年に1度

主な調査事項 【これからの生活設計】

- 問24 これからの生活のまかない方
- 問25 これからの就業希望
 - ※問24、問25の調査実施年
第1回、第6回、第9回、第12回、第15回、第18回
- 補問25-1 仕事をしたい理由
- 補問25-2 仕事をしたくない理由
 - ※補足25-1、補足25-2の調査実施年
第9回、第12回、第15回、第18回

課題を踏まえた今後の方向性

方向性

- 現在の中高年齢者調査に不足している介護を受ける側の状況に関する項目を追加してはどうか
- 介護を受ける側の居住環境の変化を踏まえ、中高年齢者の異動情報を把握してはどうか
- 調査対象者の年齢を踏まえ、今後の調査を長く継続して把握していくため負担なく回答できるよう質問数を削減してはどうか
- 調査に協力していただけない方の理由（調査拒否等）を把握してはどうか

第2回縦断調査の改善に関するワーキンググループでの主な御意見（1）

事項	主な御意見	対応案
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険のニーズ調査を参考とし、同じような調査項目を調査しようとしているが、パネル調査として意味があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル調査としての活用方法を追記。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の公的統計で類似する調査項目が把握されているものがある、他の公的統計との役割分担を踏まえ、縦断調査で把握すべきものを議論すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料2を作成。
追加2 通院箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・箇所数よりも通院先（病院、診療所、接骨院など）を把握すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査項目案へ反映。
追加9 日常の応用動作	<ul style="list-style-type: none"> ・IADL（手段的日常生活動作）は、「できる」「できない」だけでなく、段階的な聞き方をすべきではないか。 ・「IADL尺度」（Lawtonの尺度※）から8項目を抜き出しているが、抜き出したことの有効性を検証すべきではないか。 ※アメリカの心理学者Lawtonによって発案されたもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IADLの評価については、老研式活動能力指標（13項目）等の指標もあるが、国際的に利用されている「Lawtonの尺度」（日本老年医学会翻訳版,31項目）から一部を参考とし、四件法とした。
変更 問3 配偶者以外の同居者	<ul style="list-style-type: none"> ・追加された「就労の有無」は介護離職などを分析するため、「正規」「非正規」まで調査して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査項目案へ反映。
変更 問29-1 住まいの形態	<ul style="list-style-type: none"> ・「賃貸住宅」は、貧困の度合いが違う研究もあり「公営」と「民間」を分けるべきではないか。 ・「福祉施設」は、「有料老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「グループホーム」等を分けるべきではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「賃貸住宅」「福祉施設」とも出現数が少ないため、さらなる分割は見送る。
削除 問4 同居していない子・孫	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯無子（チャイルドレス）の影響をみるため、「子・孫」の情報は残すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「継続」とし把握していく。
削除 問5 親族への介護	<ul style="list-style-type: none"> ・老老介護の影響をみるため、「介護時間」は残すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「継続」とし把握していく。

第2回縦断調査の改善に関するワーキンググループでの主な御意見（2）

事項	主な御意見	対応案
削除 問19-3 就業日数・就業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも就業している人は多く、「就業日数」「就業時間」は残して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「継続」とし把握していく
削除 問28 社会参加活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「満足度」は政策的な評価が難しいので、それよりも「活動の場（機会）の有無」を把握したほうがよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査項目案へ反映
死亡情報等	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に本人同意を得ることの是非 ・他のパネル調査での対応状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都健康長寿医療センター研究所が実施している「全国高齢者の健康と生活に関する長期縦断研究」では、住民票の除票（転出や死亡など）を確認している。 除票の確認には本人同意が必要となるが、2021年の調査からは、書面での同意書を得るようにしたとのことであった。 ・本人同意については、利用目的、把握方法を明確に示して同意を得る必要があるが、調査対象者にとって機微な情報でもあり、判断に負担をかけることから、把握を見送る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡情報と併せて「終活」についても把握すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相続や遺言など厚生労働行政分野の政策となっていないため、現時点では調査項目への設定を見送る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の修了時点については、目標値や基準を合意しながら進めるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成14年成年者が終了（中止）を判断した残存率、終了理由が一つの判断基準になるとして「中間まとめ」（案）に記載する。

介護を受ける側の状況に関する新規項目案

追加1 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる方がいますか。（複数回答）

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 同居の子どもの配偶者
- 4 別居の子ども
- 5 別居の子どもの配偶者
- 6 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 7 近隣
- 8 友人
- 9 その他（ ）
- 10 看病や世話をしてくれるような人はいない

・看病や介護が必要になった時、世話をしてくれる人の情報を把握するため
・過去の世帯構成や社会参加活動等との関連、将来の健康状態や介護状態の変化等による影響を分析していくため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

※問27「頼りにしている人の有無」は重複するため削除。

介護を受ける側の状況に関する新規項目案

〈第2回ワーキンググループでの追加案〉

追加2 現在、定期的に通っている病院や診療所、歯科診療所、鍼灸・接骨院（往診等を含む）などがありますか。
（箇所、頻度）

- 1 1箇所
- 2 2箇所以上（ ）箇所
- 3 定期的な通院はしていない

↓ 箇所数の把握から、通院先の情報を把握できるように修正

〈第3回ワーキンググループでの修正案〉

追加2 定期的に通っている通院先はありますか。（複数回答）

- 1 病院・診療所
- 2 歯科診療所
- 3 あん摩マッサージ・針灸・接骨院
- 4 通院していない

・通院や入院の有無は問8で把握しているが、通院先を把握するため
・将来、健康状態や介護状態と併せて、健康の変化等を分析していくため

※独自に追加。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

追加3 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ふつつ
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

・収入等は問31で把握しているが、主観的な経済状態を把握するため
・将来、こころの健康（K6）や健康状態、介護状態、外出の状況、趣味・教養・社会参加活動などに関連して分析していくため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

追加4 週に1回以上は外出していますか。

- 1 ほとんど外出しない
- 2 週1回
- 3 週2～4回
- 4 週5回以上

・閉じこもり傾向を把握するため
・閉じこもり傾向にある方の過去の世帯構成の変化、趣味・教養・社会参加活動の状況等との関連、将来、閉じこもり傾向になった方の健康状態・経済状態の変化等を分析していくため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

追加5 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

・咀嚼機能の低下を把握するため
・将来、栄養がうまく摂れない状態が、健康状態等に及ぼす影響を分析していくため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

〈第2回ワーキンググループでの追加案〉

追加6 入れ歯やインプラント等の義歯を入れていますか。

- 1 部分入れ歯、ブリッジ、インプラントを入れている
- 2 総入れ歯（全部入れ歯）を入れている
- 3 入れていない

↓ 義歯の有無だけでなく、残っている歯の本数を把握できるよう修正

〈第3回ワーキンググループでの修正案〉

追加6 歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。

（参考：成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

取り外しできる入れ歯を外し、本数を数えます。

差し歯やインプラントは自分の歯として数えます。）

- 1 自分の歯は20本以上あり、入れ歯を利用している
- 2 自分の歯は20本以上あり、入れ歯を利用していない
- 3 自分の歯は19本以下で、入れ歯を利用している
- 4 自分の歯は19本以下で、入れ歯を利用していない

・将来、入れ歯の変化が認知症や健康等に及ぼす影響を把握するため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

※「入れ歯」は、総入れ歯、部分入れ歯の取り外しが可能なもの。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

追加7 どなたかと食事をとる機会がありますか。

- 1 毎日ある
- 2 週に何度かある
- 3 月に何度かある
- 4 年に何度かある
- 5 ほとんどない

・孤食の状況を把握するため
 ・過去の世帯構成の変化や社会参加活動等との関連、将来の認知症や健康等への影響を分析していくため

※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」（厚生労働省老健局）を参考とした。

追加8 あなたの物忘れの状況はいかがですか。

	はい	いいえ
1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	2
2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができますか	1	2
23 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

・認知機能の低下を把握するため
 ・過去の世帯構成の変化、就業、社会参加活動等との関連、将来の健康状態や介護状態等の影響を分析していくため

※要介護認定の際に職員等が本人の主観を聴き取り記載しているチェックリストを参考とした。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

※第2回ワーキンググループの追加案から、選択肢について「できる」「できない」の二件法から、「問題なくできる」「だいたいできる」「あまりできない」「まったくできない」の四件法に修正

追加9 あなたの日常生活でできることは何ですか。

	問題なく できる	だいたい できる	あまりで きない	まったく できない
1 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができる	1	2	3	4
2 すべての買い物を自分で行うことができる	1	2	3	4
3 自分で考えてきちんと食事の支度をすることができる	1	2	3	4
4 力仕事以外の家事を一人でこなすことができる	1	2	3	4
5 自分の洗濯はすべて自分で行うことができる	1	2	3	4
6 一人で公共交通機関を利用し、あるいは自家用車で外出することができる	1	2	3	4
7 自分で正しい時に正しい量の薬を飲むことができる	1	2	3	4
8 家計を自分で管理（支払計画・実施ができる、銀行へ行くこと等）できる	1	2	3	4

・食事、移動、排せつ、入浴等の基本的な動作は問11で把握しているが、応用的な動作について把握するため
 ・将来、IADLの変化と健康状態、介護状態等の影響を分析していくため

※IADLの評価については、老研式活動能力指標（13項目）等の指標もあるが、国際的に利用されている「Lawtonの尺度」（日本老年医学会翻訳版,31項目）から一部を参考とし、四件法とした。

【参考①】 IADL（手段的日常生活動作）に関する指標

Lawtonの尺度（31項目）

A 電話を使用する能力		
1. 自分で番号を調べて電話をかけることができる。	はい	いいえ
2. 2, 3のよく知っている番号であればかけることができる。	はい	いいえ
3. 電話には出られるが自分からかけることはできる。	はい	いいえ
4. 全く電話を使用できない。	はい	いいえ
B 買い物		
1. すべての買い物を自分で行うことができる。	はい	いいえ
2. 少額の買い物は自分で行うことができる。	はい	いいえ
3. 誰かが一緒でないと買い物ができない。	はい	いいえ
4. 全く買い物ができない。	はい	いいえ
C 食事の支度		
1. 自分で考えてきちんと食事の支度をすることができる。	はい	いいえ
2. 材料が用意されていれば食事の支度をすることができる。	はい	いいえ
3. 支度された食事を温められる。または、食事の準備はできるものの、適切な食事内容を作ることはできない。	はい	いいえ
4. 食事の支度をしてもらう必要がある。	はい	いいえ
D 家事		
1. 力仕事以外の家事はひとりで行える。	はい	いいえ
2. 皿洗いやベッドの支度などの簡単な家事が行える。	はい	いいえ
3. 簡単な家事はできるが、きちんと清潔さを保つことはできない。	はい	いいえ
4. 全ての家事に手助けを必要とする。	はい	いいえ
5. 家事は全くできない。	はい	いいえ

E 洗濯		
1. 自分の洗濯は全て自分で行える。	はい	いいえ
2. 下着や靴下などの小物の洗濯を行うことはできる。	はい	いいえ
3. 洗濯は他の人にしてもらう必要がある。	はい	いいえ
F 交通手段		
1. ひとりで交通機関を利用し、あるいは自家用車で外出できる。	はい	いいえ
2. ひとりでタクシーは利用できるが、その他の公共交通機関を利用して移動することはできない。	はい	いいえ
3. 付き添いがいれば、公共交通機関で移動できる。	はい	いいえ
4. 付き添いがいれば、タクシーか自家用車で移動できる。	はい	いいえ
5. 全く外出はできない。	はい	いいえ
G 服薬の管理		
1. 自分で正しいタイミングで正しい量の薬を飲むことができる。	はい	いいえ
2. 前もって薬が仕分けされていれば、自分で飲むことができる。	はい	いいえ
3. 自分で薬を管理できない。	はい	いいえ
H 金銭管理能力		
1. 家計を自分で管理できる（支払い計画・実施、銀行へ行くなど）。	はい	いいえ
2. 日々の支払いはできるが、預金の出し入れや大きな買い物には手助けが必要。	はい	いいえ
3. 金銭の取り扱いはできない。	はい	いいえ

【参考②】 IADL（手段的日常生活動作）に関する指標

老研式活動能力指標（13項目）

手段的ADL		
1. バスや電車を使って1人で外出できますか。	はい	いいえ
2. 日用品の買い物ができますか。	はい	いいえ
3. 自分で食事の用意ができますか。	はい	いいえ
4. 請求書の支払いができますか。	はい	いいえ
5. 銀行預金・郵便貯金のおし入れが自分でできますか。	はい	いいえ
知的能動性		
6. 年金などの書類が書けますか。	はい	いいえ
7. 新聞を読んでいますか。	はい	いいえ
8. 本や雑誌を読んでいますか。	はい	いいえ
社会的役割		
9. 健康についての記事や番組に関心がありますか。	はい	いいえ
10. 友だちの家を訪ねることがありますか。	はい	いいえ
11. 家族や友だちの相談にのることがありますか。	はい	いいえ
12. 病人を見舞うことができますか。	はい	いいえ
13. 若い人に自分から話しかけることがありますか。	はい	いいえ

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

追加10 あなたは令和○年9月の1ヶ月間に介護サービスを受けるための費用がありましたか。

- 1 介護サービスの費用あり → 令和○年9月の費用
- 2 介護サービスの費用なし

						万
						千円

・医療費については問9で把握している
・将来、介護サービスの利用状況と健康状態、経済状態変化との関連や利用していない要因などを分析していくため

追加11 健康状態の変化を把握するため、あなたの身長と体重を教えてください。
身長や体重を計っていない、わからない場合は無記入としてください。

							cm
							kg

・体重の増減、BMI（体重÷（身長の2乗））を把握するため
・将来、体格の変化とADL（日常生活動作）、IADLの変化、健康状態、介護状態等を関連して分析していくため

追加12 データ上、調査票を郵送する際の住所情報から市区町村コードを把握し、データに格納する。

・転居の有無は問29-2で把握しているが、異動距離を把握するため、第1回調査時点の市区町村コードと比較することで異動距離の比較が可能

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

※第2回ワーキンググループの追加案から、「就労の状況」について、就労の有無だけでなく雇用形態も把握できるよう修正

変更1 問3 配偶者以外に同居している方の状況についてお答えください。

	あなたとの関係								性別		年齢	収入の有無			
	子	子の配偶者	自分の父母	配偶者の父母	孫	兄弟姉妹	その他の親族	その他	男	女		就労の状況			
												正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	自営・その他	就労していない
1人目	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2		1	2	3	4
2人目	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2		1	2	3	4
3人目	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2		1	2	3	4
...															

- ・「その他」に含まれていた「子の配偶者」を個別の項目として追加
- ・「自分の父」「自分の母」は「自分の父母」に変更（配偶者の父母も同様）
- ・性別を追加
- ・「収入の有無」は「就労の状況」に変更
- ・「正規の職員・従業員」「非正規の職員・従業員」「自営・その他」「就労していない」を追加
- ・「介護の必要」は問5（親族への介護の有無）で把握しているため削除

※「非正規の職員・従業員」には、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託などが含まれます。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

変更2 問29-1 現在のお住まいの形態についてお答えください。

- 1 持ち家
- 2 賃貸住宅
- 3 社宅等
- 4 [医療施設](#)
- 5 [福祉施設（入居して、福祉や介護の支援・サービスを受ける施設）](#)
- 6 その他

・「その他」に含まれていた「医療施設」
「福祉施設」を個別の項目として追加
なお、「住宅ローンの有無」は削除

※住民票異動の有無は問わない。
※各種施設に入居されても本調査は継続される。

介護を受ける側のニーズに関する新規項目案

※第2回ワーキンググループの議論を踏まえ、趣味・教養・社会参加活動は「満足度」の把握よりも、「活動の機会の有無」を把握できるよう修正

変更3 問28 あなたはこの1年間（令和○年11月～令和○年10月）に、
 以下のような活動に参加できる機会がありましたか。
 また、活動の機会があった場合はその活動に参加しましたか。

	活動の機会の有無		参加の有無
趣味・教養 (囲碁、料理、旅行など)	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし
スポーツ・健康 (ウォーキング・球技など)	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし
地域行事 (町内会の催しなど)	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし
子育て支援・教育・文化 (子供会の役員など)	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし
高齢者支援 (家事支援・移送など)	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし
その他の社会参加活動	1 <u>あり</u>	→	1 あり
	2 <u>なし</u>		2 なし

・「活動の方法」「満足度」は削除とし、「活動の機会」を追加

中高年者縦断調査（周期項目案）

記入者負担を削減するため、周期項目としてはどうか。

調査年

2年に1度

主な調査事項

【社会活動等】

問26 日常活動の範囲・頻度

問28 趣味・教養、社会参加活動の機会の有無、参加の有無

【住居・家計】

問30 情報通信機器の使用状況

【配偶者】

問37 配偶者との時間の過ごし方

補問37-1 配偶者と過ごす時間

第18回 中高年者縦断調査 見直し一覧（1）

調査対象者の年齢を踏まえ、今後の調査を長く継続して把握していくため負担なく回答できるような質問数を削減してはどうか。

	新規・変更	継続	周期	削除	項目計
見直し前	—	89	4	—	93
見直し後	16	56	5	30	77(83%)

	記入者	継続	
	【家族】		
問1	配偶関係の有無	継続	
補問1-1	同・別居の別	継続	
補問1-2	介護の必要の有無	継続	
問2	1年間の配偶関係の変化	継続	
	配偶者の出生年月	継続	
	配偶者の学歴	削除	この1年間に結婚した者の割合が1%未満と低いため
問3	配偶者以外の同居者の有無	継続	
補問3-1	続柄	変更	
補問3-1	性別	新規	
補問3-1	年齢	継続	
補問3-1	収入の有無	削除	就労の状況へ変更
補問3-1	就労の状況	新規	
補問3-1	介護の必要の有無	削除	問5親族への介護の有無で把握しているため
問4	同居なし両親の有無	削除	
	年齢(父母)	削除	別居している親がいる割合が1割未満と低いため
	介護の必要の有無(父母)	削除	
	同居なし子、孫	継続	
問5	親族への介護の有無	継続	
	介護の相手	継続	
	1週間の介護時間	継続	
追加1	看護や世話をしてくれる人	新規	
問6	同居なし親族への経済的な支援	削除	
	月平均支援額	削除	「支援している」割合が「毎月」「時々」とも1割未満と低いため
	年間合計支援額	削除	

※問4「同居なし子、孫」は、生涯無子（チャイルドレス）の影響を把握するため「継続」に変更

※問5「1週間の介護時間」は、老老介護の影響を把握するため「継続」に変更

第18回 中高年者縦断調査 見直し一覧（2）

	【健康】		
追加11	身長、体重	新規	
問7	現在の健康状態	継続	
問8	病気・けがの診断の有無	継続	
	通院・服薬の有無	継続	
	治療開始からの病状の変化	継続	
	1年間の入院の有無	継続	
追加2	通院箇所	新規	
問9	病気等の治療の費用の有無	継続	
	金額(費用)	継続	
問10	過去1か月間の「感じ」	継続	
問11	日常生活活動の困難の有無	継続	
補問11-1	困難な活動の種類・程度	継続	
追加9	日常の応用動作	新規	
問12	要介護度の状況	継続	
	要支援度等の認定を初めて受けた時期	継続	
追加10	介護サービス費用	新規	
問13	飲酒の程度	継続	
	1日平均飲酒量	継続	
問14	喫煙習慣の有無	継続	
	1日平均喫煙量	継続	
追加4	外出	新規	
問15	運動の状況	継続	
追加5	咀嚼機能	新規	
追加6	義歯	新規	
追加7	食事の機会	新規	
追加8	物忘れ	新規	
問16	1年間の健診等受診の有無	継続	
補問16-1	健診等結果	継続	
補問16-1	健診等結果への対応	継続	
問17	健康維持のため心がけていること	継続	

第18回 中高年者縦断調査 見直し一覧 (3)

【就 業】		
問18	収入になる仕事をしているか	継続
問19-1	仕事のかたち	継続
問19-2	仕事の内容	継続
問19-3	1週間の就業日数	継続
	1週間の就業時間	継続
問19-4	勤め先の従業者数	削除
問19-5	仕事について感じていること(満足度)	削除
問19-6	仕事をしている理由	継続
問20-1	勤め先の定年の有無	削除
	定年年齢	削除
問20-2	勤め先の再雇用制度等の有無	継続
	利用希望の有無	継続
問20-3	勤め先の再雇用制度等の利用の有無	削除
問21	後継者の有無	削除
	今後の事業方針	削除
問22	収入になる仕事をしたいか	継続
補問22-1	したい仕事のかたち	削除
補問22-2	仕事探し、開業準備	削除
補問22-3	仕事探し、開業準備をしない理由	削除
問23	過去1年間に仕事をやめた経験の有無	継続
	その仕事をやめた年月、離職2回目以降	削除
	その仕事のかたち	継続
	その仕事をやめた理由	継続
【これからの生活設計】		
問24	これからの生活のまかない方	削除
問25	これからの就業希望	削除
補問25-1	仕事をしたい理由	削除
補問25-2	仕事をしたくない理由	削除

※問19-3「1週間の就業日数・就業時間」は、高齢者でも就業している人は多く「継続」に変更

第18回 中高年者縦断調査 見直し一覧（4）

	【社会活動等】		
問26	日常活動の範囲・頻度	周期	
問27	頼りにしている人の有無	削除	追加1「あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」を新規に追加したため
問28	趣味・教養、社会参加活動の 機会の有無	新規(周期)	
	趣味・教養、社会参加活動の有無	周期	
	活動の方法	削除	同僚、町内会、NPO等の割合が1割未満と低いため
	満足度	削除	
	【住居・家計】		
問29-1	住まいの形態	変更	
	ローンの有無	削除	住宅ローンありが1割未満と低いため
問29-2	住宅の変化	継続	
問30	情報通信機器の使用状況	周期	
問31	1か月間の収入の有無	継続	
補問31-1	収入の種類	削除	働いて得た所得、公的年金以外の項目が1割未満と低いため
補問31-2	1か月間の収入額	継続	
	公的年金の受給額	継続	
追加3	家計の感じ方	新規	
問32	1か月間の家計支出額	継続	
問33	借入金の有無、金額	継続	
問34	預貯金の有無、金額	継続	
	【配偶者】		
問35	配偶者の健康状態	継続	
問36	配偶者の1か月間の収入の有無	継続	
補問36-1	収入の種類	削除	働いて得た所得、公的年金以外の項目が1割未満と低いため
補問36-2	1か月間の収入額	継続	
	公的年金の受給額	継続	
問37	配偶者との時間の過ごし方	周期	
補問37-1	配偶者と過ごす時間	周期	

※問28「趣味・教養・社旗参加活動」は、「活動の機会の有無」を追加し、「満足度」は「削除」に変更

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（1）



第18回 中高年者縦断調査

中高年者の生活に関する継続調査票

(令和4年11月2日調査)



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

記入者について

調査票はご本人が記入してください。やむを得ずご本人が記入できない場合は、記入者のご本人との関係と記入できない理由をお書きください。

【記入者のご本人との関係】

1 配偶者 2 親 3 子 4 その他

【ご本人が記入できない理由】

整理番号				
地区	単位区	世帯	該当者	
出生年月				性別
昭和	年	月生		

継続
(定例項目)

家 族

問1 あなたには、現在、配偶者はいますか。配偶者がいる場合は、同居の有無と介護の有無について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

(「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。)

1	い	る	→	補問1-1	現在配偶者と同居していますか。	1	はい	2	いいえ
				補問1-2	配偶者の方は介護を必要としていますか。	1	はい	2	いいえ
2	いない								

継続
(定例項目)

問2 この1年間(令和3年11月~令和4年10月)に、あなたは、結婚、離婚又は配偶者と死別しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

(婚姻届の提出の有無にかかわらず、結婚には事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚、死別には事実上夫婦として生活していた場合も含まれます。)

1	この1年間に結婚した	→	配偶者の出生年月
2	この1年間に離婚又は死別した		1 大正 []年[]月生
3	上記1、2のようなことはなかった		2 昭和 []年[]月生
			3 平成
			配偶者が最後に卒業した学校
			(あてはまる番号1つに○)
			1 中学校 4 短大・高专 7 その他
			2 高校 5 大学
			3 専門学校 6 大学院

継続
(定例項目)

削除(案)

【配偶者の学歴】
この1年間に結婚した者の割合が1%未満と低いため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（2）

問3 あなたには、現在、配偶者以外に同居している方はいますか。

1	いる
2	いない

→ 次頁の 問4へお進みください

補問3-1 配偶者以外に同居している方の状況について、1人ずつお答えください。

(例：配偶者以外に同居している方が、子2人と自分の母の場合は、記入例のようになります。)

継続（定例項目）
選択肢一部変更

	あなたとの関係									年 齢	収入の有無		介護の必要			
	子	自分の父	自分の母	配偶者の父	配偶者の母	孫	兄弟姉妹	その他の親族	その他		あ り	な し	あ り	な し		
記入例	1人目	①	2	3	4	5	6	7	8	9	31	歳	①	2	1	②
	2人目	①	2	3	4	5	6	7	8	9	28	歳	1	②	1	②
	3人目	1	2	③	4	5	6	7	8	9	90	歳	①	2	①	2
	1人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	2人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	3人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	4人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	5人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	6人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	7人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	8人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	9人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2
	10人目	1	2	3	4	5	6	7	8	9		歳	1	2	1	2

削除（案）

【収入の有無】
就労の状況へ変更

【介護の必要の有無】
問5 親族への介護の有無で把握しているため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（3）

削除（案）

継続
（定例項目）

継続
（定例項目）

削除（案）

問4 同居していない自分の親、配偶者の親、子及び孫の状況について、それぞれお答えください。

	同居していない親		同居していない親が「いる」場合は記入してください。	
	年 齢	介護の必要	年 齢	介護の必要
自分の父	1 いる	2 いない	<input type="text"/> 歳	1 あり 2 なし
自分の母	1 いる	2 いない	<input type="text"/> 歳	1 あり 2 なし
配偶者の父	1 いる	2 いない	<input type="text"/> 歳	1 あり 2 なし
配偶者の母	1 いる	2 いない	<input type="text"/> 歳	1 あり 2 なし

【同居なし父母、続柄】
【年齢（父母）】
【介護の必要の有無（父母）】
別居している親がいる割合が1割未満と低いため

同居していない子、孫			
子	<input type="text"/>	人いる	2 いない
孫	<input type="text"/>	人いる	2 いない

※年齢、介護の必要の有無をそれぞれの父・母の欄に記入してください。
同居していない子・孫がいる場合は、それぞれの人数を記入してください。子・孫には、それぞれの配偶者を含みません。

問5 あなたは現在、同居している方や同居していない親族に対して、介護をしていますか。
介護をしている場合は、相手とあなたとの関係と、この1か月間（令和4年10月）の平均した1週間の介護時間を記入してください。

介護の有無	あなたとの関係（あてはまる番号すべてに○）			1週間の介護時間
1 している	1 配偶者	5 配偶者の父	9 その他の親族	<input type="text"/> 時間
	2 子	6 配偶者の母	10 その他	
2 していない	3 自分の父	7 孫		
	4 自分の母	8 兄弟姉妹		

問6 あなたの世帯では、現在、同居していない親族へ経済的な支援をしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、支援をしている場合は、その支援額を記入してください。

* 毎月の支援の他に、不定期で支援をしている場合は、1、2両方に○をつけ、それぞれの支援額を記入してください。

1 ほとんど毎月支援している	→ 月平均支援額	およそ <input type="text"/> 万円
2 ボーナス時など時々支援している	→ 年間合計支援額	およそ <input type="text"/> 万円
3 支援していない		

【同居なし親族への経済的な支援】
【月平均支援額】
【年間合計支援額】
「支援している」割合が「毎月」「時々」とも1割未満と低いため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（4）

健康

問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------------|--------|
| 1 大変良い | 3 どちらかといえば良い | 5 悪い |
| 2 良い | 4 どちらかといえば悪い | 6 大変悪い |

継続
(定例項目)

問8 あなたは現在、以下の病気などについて医師から病気であると診断されていますか。診断されている場合は、**通院や服薬・病状・入院の有無**について、病気ごとにお答えください。

医師の診断が「あり」の場合は記入してください。

	医師の 診 断	通院や 服 薬	治療等開始 時期からの 病 状			この1年間の [令和3年11月 ~令和4年10月] 入 院	
			よ く な く な い	変 わ ら な い	悪 化 し て い る	入 院 し た	入 院 し て い な い
糖尿病	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
心臓病 (狭心症、心筋梗塞等)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
脳卒中 (脳梗塞、脳出血、 くも膜下出血等)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
高血圧	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
脂質異常症 (高脂血症等)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
悪性新生物 (がん)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし	1	2	3	1	2
上記以外の病気・けが	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし				1	2

継続
(定例項目)

問9 あなたは、この1か月間(令和4年10月)に、病気やけがの**治療のための費用**がありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、費用がある場合は、この1か月間(令和4年10月)の費用を記入してください。

- | | | | | | | |
|--------------|---|------------|----------------------|---|----------------------|----|
| 1 治療のための費用あり | → | 令和4年10月の費用 | <input type="text"/> | 万 | <input type="text"/> | 千円 |
| 2 治療のための費用なし | | | | | | |

継続
(定例項目)

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（5）

継続
(定例項目)

問10 次の質問について、この1か月間(令和4年10月)はどのようであったか、それぞれあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問11 あなたは現在、補問11-1にあげたような日常生活活動の際、困難に感じることはありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 ある 2 ない → 次頁の 問12へお進みください

継続
(定例項目)

補問11-1 あなたが困難に感じる活動ごとに、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※困難でない項目には○をつける必要はありません。	何らかの困難はあるが、 独力でできる	独力ではできないので 介助が必要
歩く	1	2
ベッドや床から起き上がる	1	2
いすに座ったり立ち上がったたりする	1	2
衣服を着たり脱いだりする	1	2
手や顔を洗う	1	2
食事をする	1	2
排せつ	1	2
入浴をする	1	2
階段の上り下り	1	2
買い物したものの持ち運び	1	2

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（6）

継続
(定例項目)

問12 あなたは現在、介護保険法の要支援又は要介護の認定を受けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「要支援1」から「要介護5」までに○をつけた場合は、現在の要支援度又は要介護度の認定を初めて受けた時期を記入してください。

※認定を受けている方は、介護保険被保険者証等を参考にお答えください。

認定を受けている 要支援又は要介護の	1	認定を申請していない・申請する必要がない
	2	認定を申請中である
	3	自立と認定された
	4	要支援1
	5	要支援2
	6	要介護1
	7	要介護2
	8	要介護3
	9	要介護4
	10	要介護5

現在の要支援度又は要介護度の認定を初めて受けた時期	
1	平成 <input type="text"/> 年
2	令和 <input type="text"/> 年

例：平成30年に「要支援1」の認定を受けてから、令和3年に「要支援2」に区分が変更になった場合は、「5 要支援2」に○を付け、「現在の要支援度又は要介護度の認定を初めて受けた時期」については、「2 令和」に○をし、「3」と記載することになります。

問13 あなたがふだんお酒を飲む頻度はどれくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	毎日	→ お酒を飲む日の1日の平均的な飲酒量はどれくらいですか。 清酒に換算し、あてはまる番号1つに○をつけてください。
2	週5～6日	
3	週3～4日	
4	週1～2日	
5	月に1～3日	1 1合未満 2 1～2合未満 3 2～3合未満 4 3～5合未満 5 5合以上
6	ほとんど飲まない	※清酒1合(アルコール度数15度・180ml)と同程度のアルコール量 ・ビール中瓶1本(同5度・500ml) ・焼酎0.6合(同25度・約110ml) ・ワイン1/4本(同14度・約180ml) ・ウイスキーダブル1杯(同43度・60ml) ・缶チューハイ1.5缶(同5度・約520ml)
7	飲まない(飲めない)	

継続
(定例項目)

問14 あなたは現在、たばこを吸っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	吸っている	→ 1日の平均的な喫煙本数はどれくらいですか。
2	吸っていない	あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	10本以下	2	11～20本	3	21～30本	4	31本以上
---	-------	---	--------	---	--------	---	-------

継続
(定例項目)

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（7）

継続
(定例項目)

問15 あなたのふだんの運動の状況について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	運動している（平均的な実行頻度）					運動していない
	月に1日程度	週に1日程度	週に2～3日	週に4～5日	ほぼ毎日	
息がはずまない軽い運動 (ストレッチ・軽い体操など)	1	2	3	4	5	6
多少息がはずむ運動 (ウォーキング・ジョギングなど)	1	2	3	4	5	6
激しく息がはずむ運動 (エアロビクス・水泳など)	1	2	3	4	5	6

問16 あなたのこの1年間（令和3年11月～令和4年10月）の健診（健康診断や健康診査）や人間ドックの受診状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 受診した 2 受診していない → 問17へお進みください

補問16-1 健診や人間ドックの結果と対応について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。最近受診した健診の結果がまだ出ていない場合は、前回受診した時の結果について回答してください。ただし、前回と今回の受診の間が1年以上ある場合は、回答せずに問17へお進みください。

継続
(定例項目)

1 異常なし	}	1 治療を受けた（受けている）
2 治療が必要		2 指導を受けた（受けている）
3 指導を受けることが必要		3 検査を受けた（受けている）
4 再検査・精密検査が必要		4 治療、指導、検査は受けずに様子をみている
		5 何もしていない（するつもりはない）

問17 あなたが日頃、健康維持のために心がけていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 お酒を飲み過ぎない	8 適正体重を維持する
2 たばこを吸い過ぎない	9 食後の歯磨きをする
3 適度な運動をする	10 適度な休養をとる
4 年に1回以上健診や人間ドックを受診する	11 ストレスをためない
5 食事の量に注意する	12 その他
6 バランスを考え多様な食品をとる	13 特になし
7 錠剤、カプセル、顆粒、ドリンク状のビタミンやミネラルを摂取する	

継続
(定例項目)

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（8）

就 業

問18 あなたはふだん何か**収入になる仕事**をしていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 仕事をしている 2 仕事をしていない → 10頁の **問22**へお進みください

問19は、問18で「仕事をしている」と回答した方 のみお答えください。

問19-1 仕事のかたちについて、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 家族従業者	5 パート・アルバイト	8 家庭での内職など
3 会社・団体等の役員	6 労働者派遣事業所の派遣社員	9 その他

問19-2 仕事の内容について、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 専門的・技術的な仕事	5 サービスの仕事	9 生産工程・労務作業の仕事
2 管理的な仕事	6 保安の仕事	10 その他の仕事
3 事務の仕事	7 農林漁業の仕事	
4 販売の仕事	8 運輸・通信の仕事	

問19-3 この1か月間(令和4年10月)の平均した1週間当たりの**就業日数**、平均的な**就業時間**(実労働時間)について、お答えください。

・ 1週間の就業日数 日 ・ 1週間の就業時間 時間

* 1日8時間、週5日働いた場合は、就業日数 5日、就業時間 40時間 となります。

問19-4 勤め先の企業・団体等の組織全体(自営業の場合は事業全体)の**従業者数**について、あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 1~4人	4 100~299人	7 1,000~4,999人
2 5~29人	5 300~499人	8 5,000人以上
3 30~99人	6 500~999人	9 官公庁

問19-5 あなたが、その**仕事について感じていること**について、それぞれあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
能力の活用・発揮	1	2	3	4	5
職場の人間関係	1	2	3	4	5
賃金・収入	1	2	3	4	5
就業時間・休日	1	2	3	4	5
仕事の内容・やりがい	1	2	3	4	5

継続
(定例項目)

継続
(定例項目)

継続
(定例項目)

継続
(定例項目)

削除(案)

削除(案)

注:1) 回答割合は、直近調査の回答状況。
2) 第17回中高年者縦断調査(66~75歳)

「仕事あり」：40.2%

「会社・団体役員」「正規の職員・従業員」
「パート・アルバイト」
「労働者派遣事業所の派遣社員」
「契約社員・嘱託」：25.0%

【勤め先の従業員数】
定年を迎える世代に関する設問であったが、
すべての対象者が70歳以上となるため

【仕事について感じていること(満足度)】
定年を迎える世代に関する設問であったが、
すべての対象者が70歳以上となるため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（9）

継続
(定例項目)

問19(つづき)は、問18で「仕事をしている」と回答した方のみお答えください。

問19-6 あなたが仕事をしている理由について、あてはまる番号すべてに○をつけ、そのうち主なもの1つの番号を右下の枠内に記入してください。

1 現在の生活費のため	9 健康を維持するため
2 現在の生活費を補うため	10 社会とのつながりを維持したいから
3 生活水準を上げるため	11 社会に役立ちたいから
4 自分のお小遣いのため	12 視野を広げたいから
5 借金の返済のため	13 今の仕事が好きだから
6 親族等への仕送りのため	14 家にずっといるのは嫌だから
7 将来の生活資金のため	15 時間に余裕があるから
8 子や孫の将来のため	16 その他の理由

上記で○をつけた理由のうち、主なもの1つの番号

削除(案)

問20は、問19-1で「会社・団体等の役員」「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員・嘱託」と回答した方のみお答えください。

問20-1 勤め先では、あなたに適用される定年がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、定年がある場合は、具体的な定年年齢を記入してください。

1 定年がある	→ <input type="text"/> 歳
2 定年はない	
3 わからない	

継続
(定例項目)

問20-2 あなたの勤め先には以下の制度などがありますか。また、制度の有無にかかわらず、今後の利用を希望しますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	制度の有無			利用希望の有無	
	制度がある	制度はない	知らない	希望する	希望しない
再就職会社のあっせん	1	2	3	1	2
再雇用(再任用)制度	1	2	3	1	2
勤務延長制度	1	2	3	1	2

削除(案)

問20-3 この1年間(令和3年11月～令和4年10月)に、以下の制度などを利用しましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	制度の利用の有無	
	あり	なし
再就職会社のあっせん	1	2
再雇用(再任用)制度	1	2
勤務延長制度	1	2

11頁の 問23へ
お進みください

【勤め先の定年の有無】
【定年年齢】
定年を迎える世代に関する設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【勤め先の再雇用制度等の利用の有無】
定年を迎える世代に関する設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（10）

削除（案）

継続
（定例項目）

削除（案）

問21は、問19-1で「自営業主」「家族従業者」と回答した方のみお答えください。

問21 あなたが現在従事している事業の後継者はいますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	いる
2	育成中
3	これから育成する
4	いない

次頁の 問23へ
お進みください

今後、事業はどうされますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	廃業	2	経営譲渡	3	まだ決めていない
---	----	---	------	---	----------

【後継者の有無】
【今後の事業方針】
無記入の割合が約9割と高いため

問22は、問18で「仕事をしていない」と回答した方のみお答えください。

問22 あなたは現在、何か収入になる仕事をしたいと思っていますか。

1	仕事をしたい	2	仕事をしたくない
---	--------	---	----------

次頁の 問23へお進みください

「仕事をしたい」場合は、補問22-1、補問22-2にお答えください。

補問22-1 どのようなかたちで仕事をしたいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	自営業主	4	雇われて働く(フルタイム労働)	7	有償型の社会参加活動
2	家業の手伝い	5	雇われて働く(パートタイム労働)	8	その他
3	家庭での内職など	6	近所の人や会社に頼まれて任意に行う仕事		

補問22-2 現在、その仕事を探したり、開業の準備をしたりしていますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	仕事を探している
2	開業の準備をしている
3	何もしていない

次頁の 問23へお進みください

補問22-3 仕事を探したり、開業の準備をしていないのはどうしてですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	探したが見つからなかった	6	家事や育児のため
2	希望する仕事がありそうにない	7	家族の介護・看護のため
3	知識・能力に自信がない	8	急いで仕事に就く必要がない
4	病気・けがのため	9	その他
5	高齢のため		

【したい仕事のかたち】
「仕事をしていない」約6割の回答のうち、「仕事をしたい」割合が1割未満と低い

【仕事探し、開業準備】
「仕事をしていない」約6割の回答のうち、「仕事をしたい」割合が1割未満と低い

【仕事探し、開業準備をしない理由】
「仕事をしていない」約6割の回答のうち、「仕事をしたい」割合が1割未満と低い

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（11）

問23～問34は、すべての方 がお答えください。

問23 あなたは、この1年間(令和3年11月～令和4年10月)に収入を伴う仕事をやめたことがありますか。

継続
(定例項目)

<p>1 この1年間に仕事をやめた (一度退職した後、現在仕事に就いている場合や再雇用制度を利用した場合を含みます。)</p>	<p>2 この1年間は仕事をやめていない (仕事をしたことがない人も含みます。)</p>
---	--

→次頁の 問24へお進みください

→やめた仕事について、やめた月、やめた理由、仕事のかたちをお答えください。

継続
(定例項目)

仕事をやめた月	仕事をやめた理由 (あてはまる番号すべてに○)													やめた仕事のかたち (あてはまる番号1つに○)								
	定年のため	契約期間が満了したから	希望退職に応じたから	倒産したから	解雇されたから	新しい仕事が見つかったから	健康がすぐれなくなったから	家族の介護・看護のため	子・孫の育児のため	人間関係がうまくいかなかったから	労働条件が不満になったから	年金を受給し始めたから	その他	自営業主	家族従業者	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	家庭での内職など	その他
令和3・4年 □□月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9

削除(案)

この1年間にやめた仕事複数ある場合は、以下に記入してください。

	仕事をやめた月	仕事をやめた理由 (あてはまる番号すべてに○)													やめた仕事のかたち (あてはまる番号1つに○)								
2つ目	令和3・4年 □□月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3つ目	令和3・4年 □□月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【その仕事をやめた年月、退職2回目以降】
退職2回目以降の割合が1割未満と低いため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（12）

これからの生活設計

問24 あなたは現在の生活を何によってまかなっていますか。また、これからの生活を何によってまかなうつもりですか。現在及びそれぞれの年齢区分ごとに、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	働いて得た所得			資産収入	預貯金の取り崩し	退職金	公的年金	私的年金	子供等からの仕送り	その他
	本人	配偶者	その他の同居人							
すべての方が、○をつけてください	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
現在の生活										
これからの生活 現在67～68歳の方は、○をつけてください 68～69歳の生活のまかない方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
現在67～73歳の方は、○をつけてください 70～74歳の生活のまかない方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
すべての方が、○をつけてください 75歳以降の生活のまかない方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問25 あなたは、収入を伴う仕事について、これからどうしたいと思っていますか。それぞれの年齢区分ごとに、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	仕事をしたい								仕事はしたくない	まだ考えていない
	自営業主	家業の手伝い	家庭内の内職など	雇われて働くフルタイム	雇われて働くパートタイム	近所の人々や会社に頼まれて任意に行う仕事	有償型の社会参加活動	その他		
これからの仕事 現在67～68歳の方は、○をつけてください 68～69歳の仕事の希望	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
現在67～73歳の方は、○をつけてください 70～74歳の仕事の希望	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
すべての方が、○をつけてください 75歳以降の仕事の希望	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

削除（案）

補問25-1 「仕事をしたい」とお答えになった方にお聞きします。あなたが仕事をしたい理由は何ですか。年齢区分ごとに、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	生活費を稼ぐため、仕事をしなければならない	企業への貢献や生きがいのため、ぜひ仕事をしたい	条件が合う仕事があるからしたい	その他
現在67～68歳の方は、○をつけてください 68～69歳の仕事	1	2	3	4
現在67～73歳の方は、○をつけてください 70～74歳の仕事	1	2	3	4
すべての方が、○をつけてください 75歳以降の仕事	1	2	3	4

補問25-2 「仕事はしたくない」とお答えになった方にお聞きします。あなたが仕事をしたくない理由は何ですか。年齢区分ごとに、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	自分が持っている収入が得られないと考えるから	自分の経験や知識に合う仕事が見つからないから	今まで十分に働かず、健康面や家庭の理由で働くことができないから	その他
現在67～68歳の方は、○をつけてください 68～69歳の仕事	1	2	3	4
現在67～73歳の方は、○をつけてください 70～74歳の仕事	1	2	3	4
すべての方が、○をつけてください 75歳以降の仕事	1	2	3	4

【これからの生活のまかない方】
定年を迎える世代に、定年後の生活設計をたずねる設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【これからの就業希望】
定年を迎える世代に、定年後の生活設計をたずねる設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【仕事をしたい理由】
定年を迎える世代に、定年後の生活設計をたずねる設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【仕事をしたくない理由】
定年を迎える世代に、定年後の生活設計をたずねる設問であったが、すべての対象者が70歳以上となるため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（13）

継続
(周期項目)

削除 (案)

継続 (定例項目)
選択肢一部変更

社会活動等

問26 あなたはふだん以下の活動をしていますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつもする	ときどきする	あまりしない	しない
近所づきあい	1	2	3	4
友達づきあい	1	2	3	4
家事	1	2	3	4
自分の孫や子供の世話	1	2	3	4

問27 あなたには、日頃から何かと頼りにしている方がいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 同居している親族	3 近所の人	5 友人	7 いない
2 同居していない親族	4 勤め先の同僚(元同僚を含む)	6 その他	

問28 あなたはこの1年間(令和3年11月～令和4年10月)に、以下のような活動をしましたか。活動した場合は、その活動の方法・満足度について、それぞれお答えください。

	活動の有無	活動の有無が「あり」の場合は記入してください。									
		活動の方法 (あてはまる番号すべてに○)					満足度 (あてはまる番号1つに○)				
		ひとりで (同僚等を除く)	同僚や友人と (元同僚を含む)	勤め先の同僚と (元同僚を含む)	町内会・自治会 法人等の団体	NPO公益 法人等の団体	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
趣味・教養 (囲碁、料理、旅行など)	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
スポーツ・健康 (ウォーキング・球技など)	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域行事 (町内会の催しなど)	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子育て支援・教育・文化 (子供会の役員など)	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高齢者支援 (家事支援・移送など)	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他の社会参加活動	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【頼りにしている人の有無】
追加1「あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」を新規に追加したため

削除 (案)

【活動の方法】 【満足度】
同僚、町内会、NPO等の割合が1割未満と低いため

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（14）

継続（定例項目）
選択肢一部変更

継続
（定例項目）

継続
（周期項目）

削除（案）

継続
（定例項目）

継続
（定例項目）

住居・家計等

問29-1 現在のお住まいの形態について、あてはまる番号1つに○をつけ、持ち家にお住まいの場合は、住宅ローンの有無をお答えください。

お住まいの形態		住宅ローンの有無	
1 持ち家	→	1 残っている	2 残っていない
2 賃貸住宅			
3 社宅等			
4 その他			

削除（案）

【ローンの有無】
住宅ローンありが1割未満と低い

問29-2 この1年間(令和3年11月～令和4年10月)の住居の変化について、お住まいの形態にかかわらず、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 変わっていない	2 転居した	3 増改築した
-----------	--------	---------

問30 あなたは、ふだん携帯電話等の情報通信機器を使用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 携帯電話	2 スマートフォン	3 タブレット型端末	4 パソコン	5 使用していない
--------	-----------	------------	--------	-----------

問31 あなたには、この1か月間(令和4年10月)に収入はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、収入がある場合は、収入の種類とこの1か月間の収入額を記入してください。

1 収入あり 2 収入なし → 問32へお進みください

【収入あり】の場合は、補問31-1、補問31-2にお答えください。

→ 補問31-1 何によって得られた収入ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 働いて得た所得	5 私的年金
2 公的年金	6 子供等からの仕送り
3 雇用保険	7 資産収入(資産の売却による収入は含めません)
4 生活保護等の社会保障給付金	8 その他

→ 補問31-2 この1か月間の収入額を、公的年金以外と公的年金に分けて記入してください。

令和4年10月の公的年金以外の収入額 万円
 (*ボーナスなどは含めず、税・社会保険料などが控除される前の額を記入)

令和4年10月に受給した公的年金の受給額 万円
 (*10月に受給した額(2か月分)をそのまま記入)

【収入の種類】
働いて得た所得、公的年金以外の項目が1割未満と低い

問32 あなたの世帯のこの1か月間(令和4年10月)の家計支出額を記入してください。

万円

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（15）

継続
(定例項目)

問33 あなたの世帯では、現在、借入金がありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、借入金のある場合は、金額を記入してください。

1 ある 億 万円 2 ない

継続
(定例項目)

問34 あなたの世帯では、現在、預貯金（株・債券を含む）がありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、預貯金のある場合は、金額を記入してください。

1 ある 億 万円 2 ない

配偶者

継続
(定例項目)

問35・問36は、配偶者の方について お答えください。

※ご夫婦お二人でこの調査にご協力いただいている方は、次頁の問37へお進みください。

問35 配偶者の現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大変良い 3 どちらかといえば良い 5 悪い
2 良い 4 どちらかといえば悪い 6 大変悪い

問36 配偶者には、この1か月間(令和4年10月)で収入はありましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、収入がある場合は、収入の種類とこの1か月間の収入額を記入してください。

1 収入あり 2 収入なし → 次頁の 問37へお進みください

【収入あり】の場合は、補問36-1、補問36-2にお答えください。

→ 補問36-1 何によって得られた収入ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 働いて得た所得	5 私的年金
2 公的年金	6 子供等からの仕送り
3 雇用保険	7 資産収入(資産の売却による収入は含めません)
4 生活保護等の社会保障給付金	8 その他

→ 補問36-2 この1か月間の収入額を、公的年金以外と公的年金に分けて記入してください。

令和4年10月の公的年金以外の収入額 万円
 (*ボーナスなどは含めず、税・社会保険料などが控除される前の額を記入)

令和4年10月に受給した公的年金の受給額 万円
 (*10月に受給した額(2か月分)をそのまま記入)

削除(案)

【配偶者の収入の種類】
働いて得た所得、公的年金以外の項目が1割未満と低い

継続
(定例項目)

【参考】 第18回 中高年者縦断調査 調査票（16）

継続
(周期項目)

問37は、配偶者と同居している方全員 がお答えください。

問37 あなたと配偶者がふだん一緒に過ごすときは、何をしていますか。以下の
ことについてあてはまるかどうか、それぞれお答えください。

	会話	趣味・ 娯楽	買物	ポランティア 活動など	仕事	食事	テレビを見る	その他
「あてはまる」ものが 1つ以上ある場合								
あてはまる	1	1	1	1	1	1	1	1
あてはまらない	2	2	2	2	2	2	2	2

補問37-1 あなたが配偶者とふだん一緒に過ごす時間は、1週間の平均した1日当たり
どれくらいですか。

時間

医療・介護情報、死亡情報との連携

- NDB・介護DBとの連携は省内での検討状況を踏まえつつ、統計としての活用について検討してはどうか。
- 先行して、確実に本人を特定できる「連絡用はがき」から死亡情報等を把握してはどうか。

連携先	連携情報	連携方法	検討状況	
NDB 介護DB (厚労省)	・レセプト情報 ・介護情報	・第三者提供により提供を受ける	・第三者提供のガイドラインに基づき、他の情報との照合は認められていない ・社会保障審議会の専門委員会等において他の公的データベース等との連結について検討中	×
人口動態 統計 (厚労省)	・死亡票情報	・統計法に基づく二次的利用 ・氏名・住所・生年月日・性別で照合	・死亡票情報の提供は二次的利用の利用申請が認められれば提供は可能 ・データ照合のKey情報となる氏名・住所を利用する場合は本人の同意が必要。同意が得られない場合は利用不可となる。	△
連絡用 はがき (中高年者 縦断調査)	・死亡等情報	・調査を実施する際の「連絡用はがき」に「死亡」等の欄を設け、家族等からの申し出を受け付ける	・本人を特定して状況の把握が可能 ・単独世帯の場合、本人自身が回答することができない	○
保険者 (自治体 等)	・レセプト情報 ・介護情報	・開示請求（任意代理人）	・任意代理人として同意書を得た者のみの対応となる ・任意代理人の場合、開示請求の手続きが煩雑 ・保険者（自治体等）ごとに対応する必要がある	×
住基 ネット (自治体)	・死亡情報	・縦断調査から脱落した者を住基ネットに照会し、死亡情報を得る	・住民基本台帳法上、統計事務は本人確認情報の利用事務となっていない	×

調査に協力していただけない方の理由（調査拒否等）の把握

連絡用はがき イメージ

本年も、中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）に御協力いただきまして、ありがとうございました。

今後も継続して御協力をお願いしたいと思いますので、お名前・御住所に変更・訂正がある場合、下欄に御記入の上、同封の目隠しシールをお貼りいただき、御投函ください。

医療施設や福祉施設に入居された場合も、施設の住所を御記入いただければ引き続き入居先に調査資料等をお送りいたします。

なお、やむを得ず調査への御協力が難しい場合には、その理由をお教えてください。今後、調査への御依頼は中止させていただきます。

変更（訂正）前のお名前と御住所を御記入ください。

変更（訂正）後のお名前と御住所を御記入ください。

やむを得ず、調査へ御協力いただけない理由。【○をつけてください。】

御本人が死亡 / 健康上の問題 / その他

連絡事項がございましたら、以下に御記入ください。

連絡用はがきは、調査票の送付時、督促時、礼状送付時の計3回送付している。

※住所変更では福祉施設等へ入居された場合でも、住所変更が行われれば調査は継続して実施する。

調査票等を送付しても、住所不明で返送されたものは「未達」とする。

調査票も連絡用はがきも戻ってこないものは脱落理由「不明」とする。

脱落データの内訳は、未達（住所不明）、死亡、健康上、その他、不明としてカウントする。（回収客体数の参考情報）